

日本分類学会連合ニュースレター

*News Letter published by the Union of
Japanese Societies for Systematic Biology*
No. 46 [2025 年 12 月 26 日]

日本分類学会連合のトピックス

第 25 回 日本分類学会連合公開シンポジウム

日本分類学会連合第 25 回公開シンポジウム「多様性の記録と継承：次世代を見据えた分類学・生物多様性研究と社会への展開」が以下の要領で開催されます。

主催 日本分類学会連合
後援 自然史学会連合
日時 2026 年 1 月 10 日(土)13:30～16:30
会場 オンライン開催(事前申込制)
対象 一般の方(中学生以上)および研究者、大学生・大学院生
定員 300 名 ※先着順 1 月 7 日(水)締切
参加費 無料

本シンポジウムはおもに一般の方を対象とした公開シンポジウムです。研究者のみならず、生物や科学にご興味のある方などなたでもご参加いただけます。ご参加にあたっては、以下の点にご注意ください。

- 1) シンポジウムへの参加には事前申込が必要です。参加をご希望の方は、事前に日本分類学会連合のホームページより参加登録をお願いいたします。
<https://www.ujssb.org/index.html>
- 2) 本シンポジウムは「Zoom」を使用して行われます。事前に必要な環境をご確認ください。
- 3) ご不明な点はメールにて ujssbsympo@gmail.com までお問い合わせください。

趣旨

生物多様性の危機が叫ばれる中、生物標本の収集・保管・解析は、科学的知見の基盤であると同時に、一般市民が自然を理解し、未来へとつなぐための重要な財産でもあります。一方で、標本・データの長期的な蓄積と活用、国際連携体制の強化、若手研究者の育成など、分類学・多様性研究をめぐる課題は依然として山積しています。本シンポジウムでは、生物標本を用いた多様性研究、標本・データの管理と活用、標本や研究成果を活かした教育・社会連携の観点から、様々な分野で活躍されている方々から最近の話題を紹介していただきます。さらに、近年進められている国立沖縄自然史博物館設立に向けた活動の現況と今後についても取り上げ、次世代へとつなぐ分類学・生物多様性研究の未来像を共に考える機会とします。

藤田 敏彦(日本分類学会連合代表)

プログラム

13:30～13:40 開会あいさつ・趣旨説明
13:40～14:05 有藻性イシサンゴ類の分類の現状と問題点
深見裕伸：宮崎大学農学部海洋生命科

学領域
14:05～14:30 インドシナにおける陸上小型脊椎動物種多様性の調査・標本・次世代育成
本川雅治：京都大学総合博物館
14:30～14:55 自然史標本データの公開と活用：「データ」を用いて生物多様性をもっと理解する
柿添翔太郎：国立科学博物館標本資料センター
14:55～15:05 休憩
15:05～15:30 地域植物研究の灯を地方大学に継ぎ熾すや
須山知香：岐阜大学教育学部・岐阜県植物研究会・岐阜県植物誌調査会
15:30～15:55 一般市民を生物多様性調査に引き込む
白神 BioBlitz の試み
中村剛之：弘前大学白神自然環境研究センター
15:55～16:20 国立沖縄自然史博物館設立活動の進捗と今後：2032 年を目指して
岸本健雄：(一社)国立沖縄自然史博物館設立準備委員会・東京工業大学名誉教授
16:20～16:30 閉会あいさつ

講演タイトル・プログラム順は仮のものです。最終版はウェブサイトに掲示される講演要旨集をご確認ください。

https://www.ujssb.org/sympo/pdf/25_2026_.pdf

日本分類学会連合加盟学会の
大会・シンポジウム情報

日本貝類学会

日本貝類学会令和 8 年度大会
会期：2026 年 4 月 18 日(土)、4 月 19 日(日)
会場：ホテルシーモア(和歌山県西牟婁郡白浜町)
URL：<https://www.malaco-soc-japan.org/index.php>

日本魚類学会

2026 年度日本魚類学会年会
会期：2026 年 10 月 9 日(金)～12 日(月)
会場：長浜バイオ大学・琵琶湖博物館
URL：<https://www.fish-isj.jp/event/conference/>

日本菌学会

日本菌学会第 70 回大会(つくば)
会期：2026 年 5 月 15 日(金)～17 日(日)
会場：筑波大学筑波キャンパス春日エリア
URL：
<https://sites.google.com/view/msj70thcongress>

日本昆虫学会

日本昆虫学会第 86 回大会（龍谷大学）
会期：2026 年 9 月 12 日（土）～14 日（月）
会場：龍谷大学瀬田キャンパス
URL：https://entsoc.jp/

日本植物分類学会

日本植物分類学会第 25 回大会（熊本大会）
会期：2026 年 3 月 5 日（木）～8 日（日）
会場：熊本大学黒髪南キャンパス
URL：https://e-jspcs.com/

日本進化学会

第 28 回 愛知大会
会期：2026 年 8 月 19 日（水）～8 月 22 日（土）
会場：名古屋大学（予定）
URL：
http://sesj.kenkyuukai.jp/special/index.asp?id=1426

日本生物地理学会

日本生物地理学会第 81 回年次大会
会期：2026 年 4 月 11 日（土）～12 日（日）
会場：Zoom にて実施
学会 URL：https://biogeography.iinaa.net/

日本藻類学会

日本藻類学会第 50 回大会
会期：2026 年 3 月 20 日（金）～22 日（日）
会場：筑波大学筑波キャンパス
学会 URL：http://sourui.org/index.html

日本爬虫両棲類学会

日本爬虫両棲類学会第 65 回札幌大会
会期：2026 年 9 月 12 日（土）～13 日（日）
会場：東海大学札幌キャンパス
学会 URL：https://herpetology.jp/index_j.php

日本哺乳類学会

日本哺乳類学会 2026 年度大会
会期：2026 年 9 月 11 日（金）～14 日（月）
会場：いわて県民情報交流センター・アイーナ（盛岡市）
学会 URL：
https://www.mammalogy.jp/conf/index.html

TAXA —— 生物分類学メーリングリスト

日本分類学会連合が運営するメーリングリスト〈TAXA〉は、生物分類学に関する情報交換や討論をするためのメーリングリストで、生物分類学に関心をもつすべての方に開放されています。〈TAXA〉メーリングリストは下記の趣旨により開設されました。

日本分類学会連合は、「生物の分類学全般にかかわる研究および教育を推進し、我が国におけるこの分野の普及と発展に寄与することを目的(規約第 2 条)」として、2002 年 1 月 12 日に設立されました。現在、分類学に関係の深い 27 の学会が加盟しています。その後、本連合はこの目的に向かって様々な活動を展

開してきましたが、このたび新たな事業として「メーリングリスト〈TAXA〉」を開設することになりました。このリストの趣旨は、本連合からの広報のほかに、登録会員が互いに分類学に関する情報交換や討論をするための場を提供することにあります。したがって、このリストは本連合の加盟学会の会員ばかりでなく、分類学に関心をもつすべての方に開放されます。なお、リストへの登録など管理、運営は本連合の担当者が行いますが、投稿は登録会員なら誰でも自由に行えます。多くの方が登録くださいますようご案内申し上げます。

2003 年 12 月 21 日
日本分類学会連合
代表:加藤雅啓

〈TAXA〉は 2003 年 12 月 13 日に開設され、2003 年 12 月 24 日午後 5 時に稼動開始しました。2025 年 12 月 17 日の時点で 778 名の会員が登録されています。入会を希望される方は、

- 1) メールアドレス
- 2) 氏名(日本語表記ならびにローマ字表記)
- 3) 所属

を明記の上、〈TAXA〉日本分類学会事務局 (office@ujssb.org)までご連絡ください。

メーリングリスト〈TAXA〉の投稿先アドレスは taxa@ml.ujssb.org です。

[編集後記]

分類連合ニュースレターでは随時加盟学会員の皆様から広くご寄稿を募集しております。原稿は江口宛 (antist@tmu.ac.jp)に電子メールでお送りください。皆様からの多数のご寄稿をお待ち申し上げます。(ニュースレター編集担当: 江口克之)

日本分類学会連合ニュースレター 第 46 号
2025 年 12 月 26 日発行
発行者 日本分類学会連合
事務局 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1
国立科学博物館・筑波研究施設内
編集者 江口克之(東京都立大学大学院理学研究科)
